

# 信濃美術館の基本設計にかかる 「県民リレー・ワークショップ」の開催について

長野県県民文化部文化政策課  
信濃美術館整備室

県民の皆さんの多様な意見や要望を、設計者の（株）プランツアソシエイツ宮崎 浩氏が直接お聴きし、県民の皆さんと対話を重ねながら設計案をまとめる「県民リレー・ワークショップ」を開催（全9回）

## 【地域別】 全般的な幅広い意見交換（4回）

地域	開催日時	開催場所
北信	9月2日（土） 10:00～12:00	長野市役所 市民交流スペース
東信	9月2日（土） 15:00～17:20	上田駅前ビル パレオ
南信	9月18日（祝・月） 10:00～12:00	男女共同参画センター（岡谷市）
中信	9月18日（祝・月） 15:00～17:00	安曇野市豊科公民館

## 【利用者別】 利用者視点からの専門的な意見交換（5回）

対象者	開催日時	開催場所
美術関係者	9月5日（火） 10:00～12:00	長野県庁 西庁舎 111号会議室
障がいがある方等	9月12日（火） 10:00～12:00	長野市障害者福祉センター
子育て世代	9月19日（火） 10:30～12:00	長野市もんぜんぷら座 「こども広場 じゃん・けん・ぽん」
教育関係者・学生	9月24日（日） 10:00～12:00	城山公民館 第二地区分館
観光・地域づくり関係者	10月3日（火） 10:00～12:00	長野県庁 西庁舎 304号会議室

## 【開催予定】 県民フォーラム（第2回）～設計素案の中間報告～

日時：10月7日（土）14:00～16:00

場所：塩尻総合文化センター

内容：ワークショップ等でお聴きした意見を反映した設計素案の中間報告

## <関連> 城山公園ワークショップ【長野市主催】

対象者	開催日時	開催場所
地元住民	9月24日（日） 14:00～16:00	城山公民館 第二地区分館
すべての長野市民	10月14日（土） ①10:00～12:00 ②14:00～16:00	長野市役所 市民交流スペース



## 1 選考方法（設計プロポーザル）

幅広く多くの者の参加を募り、参加者の実績と能力を専門家で構成する審査委員会の高度な見識で評価し、本事業に最適な設計者を選考した。

## 2 設計プロポーザル審査委員会

### ●審査委員（7名）

分野	氏名	所属・役職	備考
美術	竹内 順一	東京藝術大学 名誉教授	審査委員長
	松本 透	県民文化部 信濃美術館整備担当参与	
建築	岸 和郎	京都造形芸術大学大学院 教授	
	関 邦則	関建築+まち研究室 代表、善光寺顧問	
	谷口 吉生	谷口建築設計研究所 所長、東山魁夷館設計者	
	古谷 誠章	早稲田大学 教授	
造園	宮城 俊作	奈良女子大学 名誉教授、放送大学 教授	

### ●オブザーバー（3名）

長野市都市整備部長、善光寺宮繕部長、信濃美術館館長

## 3 審査結果

全国の33者から応募があり、最終審査対象者の代表作品現地審査や公開審査を含む4段階の丁寧かつ厳正な審査を経て、最適候補者が選考された。

※県内の設計事務所は、単独1社、県外事務所を代表構成員とするJV2者の構成員として3社が参加

○**最適候補者** (株)プランツアソシエイツ（東京都） 代表取締役 宮崎 浩

○**評価された点**（審査委員会の講評の抜粋）

- ・代表作品の完成度や機能性の高さにみられる実績
- ・提案において、敷地を取巻く条件が緻密に考察されていること
- ・今後の協議に係る柔軟な対応を含め、卓越した建築家としての技量

○**代表作品** 安曇野高橋節郎記念美術館（安曇野市）



## 4 今後の予定

平成 29 年 12 月下旬 基本設計完了

平成 30 年 9 月下旬 実施設計完了

# 信濃美術館各室の主な利活用方法、仕様 (事務局中間とりまとめ)

長野県 県民文化部 信濃美術館整備室  
建設部 施設課

## 展示部門 2,250㎡ 【2,300㎡】

室名	面積(㎡)	利活用方法	仕様
コレクション展示室 (収蔵品の常設展示)	500	●日本画、洋画、版画、彫刻、工芸作品等の小品を中心に展示 重要文化財の展示	●外光、外気が直接入らない構造 ●温湿度の管理 (24時間、各室独立して稼働) 温度 24℃±2℃(夏期) 22℃±2℃(冬季) 湿度 55%RH±5%RH ●LED照明(色温度変更可能) ●ガス系消火設備
共用展示室	500	●企画展示や国宝・重要文化財の展示	
企画展示室	1,000	●展示環境基準が厳しい海外からの借用作品を展示 ●大型の現代美術も展示	

## 収蔵部門 1,850㎡ 【2,200㎡】

室名	面積(㎡)	利活用方法	仕様
収蔵庫	1,100	●作品分類ごとに収納(①日本画・版画・工芸、②額物(洋画、日本画)、③大型美術品(彫刻、現代美術))	●防犯性能の確保(堅牢な壁・金庫扉) ●耐火性能:2時間耐火の金庫扉、区画にダンパーを設置 ●外部環境の影響を受けない

## 教育普及部門 1,330㎡ 【1,300㎡】

室名	面積(㎡)	利活用方法	仕様
県民ギャラリー (貸スペース)	500	●県民の個展やグループ展など美術を主とした作品発表の場	●一般仕様
多目的ホール (貸スペース)	300	●美術に関する講演会や・シンポジウム等を行う ●作品展示可	●講演、講習に使用できる舞台装置(照明、音響、映像)を備える
ワークショップルーム	100	●制作体験の拠点	●様々な形態で利用可能
オープン・ギャラリー	100	●美術館が招へいした作家の公開制作の場所、制作過程の展示	●見える化による出会い、活動の誘発(ガラスウォール)
レセプション・ルーム	150	●美術館(来客者含む)の各種会議・レセプション	●内装は上級仕上げ ●音響、映像装置
こどもの広場	50	●こどもが美術館に親しむ	●子どもにとっての快適さに配慮

## 調査研究部門 350㎡ 【300㎡】

室名	面積(㎡)	利活用方法	仕様
アート・ライブラリー	175	●美術に関する図書等の情報検索、閲覧および調査研究	●外部から検索可能な書籍管理

## サービス部門 935㎡ 【900㎡】

室名	面積(㎡)	利活用方法	仕様
カフェ	200	●検討中 [ 外部委託の方向 県産食材の活用を模索 ]	●フリースペースとする(外から直接入れるイメージ)
エントランスロビー	715	●展覧会の開会式などの式典やイベント、団体への説明 ●県内美術館の情報提供	●デジタルサイネージを設置

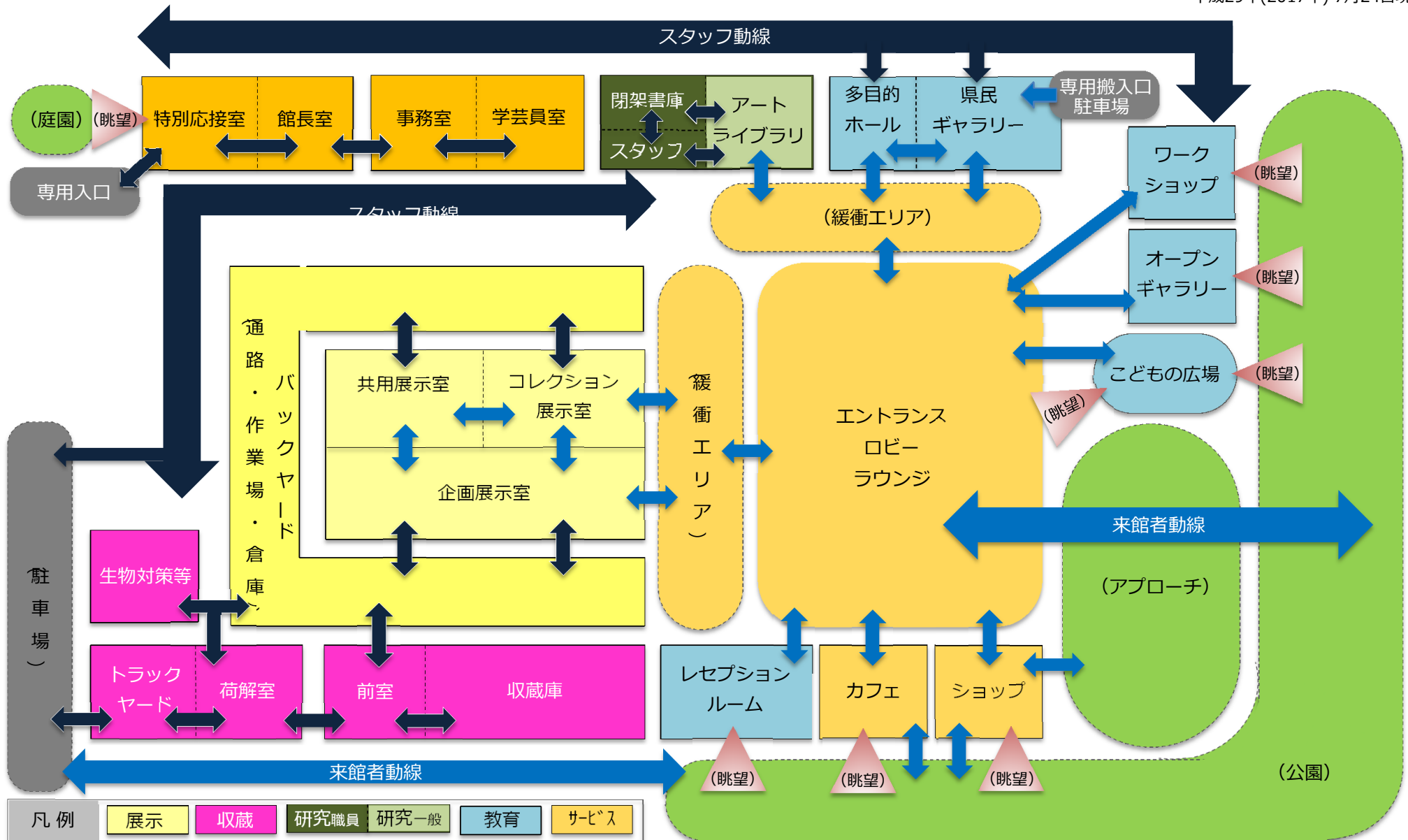
## 管理・共用部門 3,285㎡ (事務室、機械室等) 【3,000㎡】

室名	面積(㎡)	利活用方法	仕様
特別応接室	60	●著名な芸術家などVIPをもてなす部屋、行幸啓での利用も想定	●皇室の利用を念頭においたづくり

面積合計 10,000㎡ 【10,000㎡】 【 】内は基本構想の面積

# 信濃美術館整備事業 各室相関関係の検討 (案)

平成29年(2017年) 7月24日現在





# 信濃美術館整備事業

## 県民リレー・ワークショップ

これまでの意見交換会等から見えたもの Ver. 3  
(2017. 09. 05 現在)

### 美術館全体に望むこと

- 各世代に合った場所であって欲しい
- 子どもの目線に立った美術館であって欲しい
- ◎ 家族で気軽に行ける美術館であって欲しい
- ☆ 信州の歴史や生き様が反映された美術館であって欲しい
- ▲ 気軽に立ち寄れる場としての側面もあって欲しい
- ☆ 憩いの場であって欲しい
- フォーマルな雰囲気と気軽さが同居した美術館がよい
- 美術に興味がない人も訪れたい美術館がよい
- 敷居が低くて多面性のある美術館がよい
- 展示以外にも建物や他のデザインに楽しみを感じられるとよい
- ◎ 気軽に入館して、無料ゾーンを見て回れるとよい
- 無料ゾーンを充実して欲しい
- ▲◎ ミュージアムショップやレストラン等を充実して欲しい
- ◎ レストランを美術館内に設けることが難しければ、館外で民間を誘致してでも設置して欲しい
- ▲◆◎ 休憩スペースを充実して欲しい
- ◎ 車椅子利用者も皆と同じ休憩所が使えるとよい
- 横になれる場所があるとよい
- ▲ 屋外に広場のようなスペースがあるとよい
- ☆ 館内で難しいことも屋外でできるとよい
- ◎ 機能性を重視した美術館であって欲しい
- 県内美術館の特性を踏まえた美術館のあり方を考える必要がある
- ユニバーサル展示の実現（触れる展示など）
- ☆ 収蔵庫の拡充、将来の拡張性
- ▲ 自ら美術について考えていく場になるとよい
- ▲ 陳腐化しない未来を予想した作り方を指して欲しい
- 観光客、地域の人々双方にとって魅力ある施設になるとよい
- 50年後も古びず、周辺景観と一体化した美術館であって欲しい
- 美術館の外壁を利用した野外上映会など、公園との一体利用が可能な計画になるとよい
- 作品鑑賞後に美味しいワインが飲めるとよい
- 県内情報や他の美術館の情報が入手できるとよい



●ミニ・フォーラム  
(2017. 2. 24 長野/3. 14 飯田  
/4. 13 松本/4. 26 小諸)



▲ミニ・フォーラム  
in 信州大学  
(2017. 5. 29  
信州大学松本キャンパス)



■キックオフ・フォーラム  
(2017. 7. 15 長野市  
若里市民文化ホール)

- 地元の児童・生徒が親しめる施設になって欲しい
- 地下スペースには、吹抜けやサンクンガーデンなどを設けて閉鎖的にならないようにして欲しい
- 図書館はパブリックな場所に設置して欲しい
- ▲◆◎ ユニバーサルデザイン（音声ガイド、多言語対応含む）
- ▲ 学習スペースとしての役割
- ▲ 明るい雰囲気の建物にして欲しい
- ☆ 光（採光、照明）の美しい美術館にして欲しい
- ▼◆◎ 全ての人が鑑賞しやすい美術館にして欲しい
- ◆ 短時間で回ることもできるよう展示を選べるとよい
- ◆ 建物の外見も重要
- ◆ 旅行者が催事を知ることができる案内が必要
- ◆ 地下の防災利用は想定できないか
- ◆ 人々に愛されるパブリックスペースを設けてほしい
- ◎ 屋上は魅力的なので、荒天時でも使えるとよい
- ◎ 東側市道の地下は利用できないか
- ◎ 移動のためには、エレベータだけでなくエスカレータもあるとよい
- ◎ 地下にスロープを作って行き来することはできないか
- ☆ 展示壁は釘やピンが使えるとよい
- ☆ 展示空間にドラマやストーリーが感じられるとよい

### 周辺との関わりで望むこと

- 善光寺と美術館との回遊性、自然に足が向くようになるとよい
- 既存の樹木を活かした森の中の美術館になるとよい
- ☆ 城山公園内の野外彫刻が活用されるとよい
- 公園内の治安を大事にして欲しい
- ◎ 城山公園は、これからも「憩いの場」であって欲しい
- ◎ 公園には、広葉樹も植えて欲しい
- 駐車場スペースを確保して欲しい
- ▼ 駐車場の確保
- ◎ 公園が駐車場だらけにならないよう公共交通の整備を



▼長野県文化芸術議員懇談会  
北信美術会との懇談会  
(2017. 8. 25 県庁)



◎県民リレーWS No. 1&2  
(2017. 9. 02 長野市役所)



☆県民リレーWS No. 3  
—美術関係者  
(2017. 9. 05 長野県庁)

- 駅からの公共交通整備が重要
- 長野駅からの交通の便をよくしてほしい
- 長野電鉄からのアプローチ
- ◎ 城山プールや少年科学センター側からのアプローチも重要
- ▲◆ 駅前や善光寺からの誘導、案内の整備が重要
- ▼ 善光寺東庭園、城山公園との一体的整備が望ましい
- ◆☆ 美術館～城山公園～善光寺の距離感をつなぐ工夫
- 噴水にこだわりすぎず、広い視点で市と調整が必要
- ▼ 噴水をどう考えていくのか
- ☆ 善光寺から建物が見えるとよい
- ▲ 善光寺とマッチした建物がよい
- ▼ 善光寺と一緒に観光客誘致を考えるべき
- ▼ 周辺既存施設（NHK、蔵春閣など）や文教施設を踏まえた計画を
- ▼ 長野駅前から美術館行きのバスを走らせたいが、その待機所を計画できないか
- ▼ 東側からのアプローチは魅力的だと思う
- ◎ 長野らしい木の多い風景がよい

### 美術館の運営・活動について望むこと

- 芸術家を育てる施設となって欲しい
- 県内で活動している作家の展示、支援をして欲しい
- 若手作家の活動の場になって欲しい
- ▲◆ 若手の現代作家の作品が見られるとよい
- 若手作家と子どもたちの交流企画があるとよい
- ◆ 体験型の作品展示があるとよい
- ◎ 次世代育成を全県に展開する拠点になって欲しい
- 県内美術館との連携（巡回展などを含む）があるとよい
- 県内に限らず、全国の美術館との連携を目指すのがよい
- 県内小規模美術館への人的、金銭的援助をして欲しい
- ☆ 人材確保、体制整備を進めて欲しい
- ◆ 美術品の修復施設があるとよい

- 所蔵品のインターネット検索ができることよい
- 県内地域差を補うような特典があるとよい
- 運営ボランティアを募集してはどうか
- 学校教育ではできない教育活動の提供をして欲しい
- ▲ 教育へのアプローチが欲しい
- 次世代育成活動に力を入れて欲しい
- ▲◆◎ここでしか展示されない作品や構成などの特別感があるとよい
- ▲◆ 独自の企画展、長野県だからできること
- ◆ 池田満寿夫のコーナーがあってもよいのではないか
- ▲ スタンプラリーのような遊び心があるとよい
- ▲ コレクション展のアピールをした方がよい
- ▲ オール信州としての美術館になって欲しい
- ◆ 県内の他の美術館とのコラボレーション企画
- ▲ 城山公園や善光寺との共同企画があるとよい
- ◆ 善光寺ライトアップと共同したナイトミュージアム
- ◆ 夜間の開館延長ができると仕事帰りに寄れてよい
- 善光寺とのソフト面での協力もできるとよい
- ▲ 口コミ波及効果へのアプローチを考えてもよいのではないか
- ▲◎ 普段美術館に来ない人へのアクションが必要
- ▲ 県内に分館を整備してはどうか
- ▲ クラウドファンディングの活用
- ▲◆ SNS 映えするフォトジェニック性や話題性
- ◆ 一部でも撮影可能にできないか（話題性）
- デジタル技術との融合をどう考えるか
- ◆ 近隣商店街との協力が必要（半券でのサービスなど）
- ◆ 音楽と美術のコラボレーションができるとよい
- ◎ 日展など大規模展覧会が開催できる展示室があるとよい
- ◎ 館長や学芸員の教育も大事
- ◎ 展示を見ながら、語らうことができるとよい
- ◎ IoTの活用で、来館者へのホスピタリティを補助できるとよい

### 県民ギャラリーに望むこと

- ▼ 十分な壁面の確保（ピクチュアレールの用意）
- 工芸や彫刻等の展示への対応
- ☆ 生花展示も可能にして欲しい
- 搬入路の整備
- 県展クラスの展覧会は、作品を一同に展示できる広さが欲しい
- ▼ 入口をできるだけ広く明るくして欲しい
- ▼◎☆ 雑務を行う準備室や作品の梱包材を置く場所があるとよい
- ▼☆ 県民ギャラリーと講堂は並列配置の方が使いやすい

- ☆ 美術館展示室への来館者動線と準備動線は交差しないようにして欲しい
- ▼ 高所作業をせずに済むような、機械仕掛はできないか
- ▼☆ 作品を二段あるいは三段掛けできる5mの天井高が欲しい
- ☆ 壁面の中間にもピクチュアレールがあるとよい
- ▼☆ 展示パネルの間隔は5mピッチが使いやすい
- ☆ 展示治具（ワイヤー、フック、展示台など）は各所共通として使い勝手を良くして欲しい
- ▼☆ 大規模利用だけではなく、間仕切りで小さくも使えるようにして欲しい
- ☆ 使い方に応じた照明配置ができるようにして欲しい
- ◆ 高齢者利用を考えると、地盤に近いほうが利用しやすい
- ◎ 出来上がった施設を工夫しながら使いこなしていきたい

### 設計者に望むこと

- ◎ 利用者の声に柔軟に対応してくれる建築家であって欲しい
- 基本設計の段階でも県民の意見を聞く場を設けて欲しい
- 長野県の気候に合った施設設計をして欲しい
- ▼ 雪への備えを十分にしたい
- ◎ 冬の景色をイメージしながら設計して欲しい
- 県産材の活用を検討して欲しい
- ◎ 県産材は木だけではなく、石もあるので活用して欲しい
- ▼ 東山魁夷館と新館の関係など、スタッフとよく打合せして欲しい
- ▼ 制限の多い場所であるが、しっかり計画して欲しい
- ▼ 木を活用し、善光寺の建物と融合を図って欲しい
- ▼ 地中熱利用などの環境技術の検討をして欲しい
- ◆ 県民の声をよく聞くことも大事だが、あれもこれもとなってしまうようにして欲しい。美術館らしい美術館を。
- ◆ 商店街との意見交換の場を設けて欲しい
- ◎ 美術館では難しいと思うが、長野県のきれいな空気を館内に取り入れられるとよい
- ◎ 今後発達すると思われる新しい技術への対応ができるとよい
- ☆ 大人の遊び心が感じられる設計をして欲しい

### その他

- ◎ 開館時期は予定通りとして欲しい
- ☆ 一日でも早く開館して欲しい